



# 南小だより

鶴岡市立櫛引南小学校  
発行日 令和5年1月26日

今年も子ども達へのご支援をよろしくお願いいたします

新年を迎え、1月10日に始業式が行われました。学校にまた子ども達の元気な声に戻ってきたことをうれしく思います。式終了後には、各学級で新年試筆に取り組みました。どのお子さんも、心を込め、一文字一文字ていねいに書き上げていました。新しい年にふさわしい素敵な新年試筆となったようです。休み中に、書き初め練習にご協力いただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。その日の朝に、始業式で子ども達に話したことをご紹介します。

2023年（令和5年）の新しい年を迎えました。明けましておめでとうございます。

さて、去年の11月から12月にかけて、カタールという国でサッカーのワールドカップが行われました。日本のチームも出場し、ドイツやスペインといったサッカーがものすごく強い国から勝ち、日本中が盛り上がりましたね。その日本代表に長友佑都選手がいました。長友選手は試合でも活躍しましたが、「ブラボー！」という言葉でも話題になりました。

日本のチームは決勝トーナメントでクロアチアと戦い、試合は1対1の同点でしたが、決着をつけるためにPK戦になりました。このPKを蹴る選手はものすごくプレッシャーを感じるのですが、日本の一番目のキッカーに手を挙げたのが南野拓実選手でした。しかし、南野選手の蹴ったボールは相手のゴールキーパーに止められてしまいました。南野選手はPKを失敗しちゃったんですね。その後も日本の選手はPKを止められて、惜しくもクロアチアに敗れました。

南野選手は、自分が失敗したから日本は負けてしまったと責任を感じ、ものすごく落ち込んでしまったんです。グラウンドに泣き崩れ、ロッカールーム戻ってからも一人で泣いていました。

そこへ長友選手が戻ってきました。長友選手は南野選手のそばに行き、こんな言葉をかけました。「拓実、ありがとう。お前は勇気があるな。」涙を流しつつむいていた南野選手でしたが、長友選手の方を見てうなずきながらこの言葉を聞いていました。PKを失敗した悔しさは残ったままだろうけれども、この言葉にはきっと励まされたと思います。

長友選手の相手を思いやる言葉についてのお話をしましたが、南小学校でも相手を思いやる言葉をとても大切にしています。南小ではそういった言葉を『ぽかぽか言葉』と呼んでますよね。2学期には児童会活動でも取り組んだし、3年生の皆さんは道徳の時間にぽかぽか言葉など言葉づかいについて一生懸命勉強していました。皆さんが言われてうれしいと感じるぽかぽか言葉が、「ありがとう」「大丈夫」「一緒に遊ぼう」「それ、いいね」「すごいね」などでした。

今日から始まる3学期、たくさんのぽかぽか言葉が使われるとうれしいです。みんなでたくさんぽかぽか言葉を使いながら、ブラボー！な3学期にしていきたいと思います。

他人に受け入れられる、認められる、感謝される、励まされる、そんな思いやりのある言葉は人間関係を豊かなものにしてくれます。ぽかぽか言葉をたくさん言える子ども達に育ててほしいと願い、こんな話をしたところです。3学期も子ども達の育ちをつくれるよう職員一同がんばりますので、引き続きのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

文責 校長 岡部 貞二